

原作 坂口安吾

— 映画を中心に —

2022. 4月13日(水) — 8月21日(日)

文学作品は作品自体を読んで楽しむだけでなく、朗読や演劇などを通して、鑑賞することもあり、原作を読んだときとはまた違った味わいや感動を得ることも多い。

例えば坂口安吾の「桜の森の満開の下」(1947年)は、今日まで何度も朗読や、演劇、映画、人形劇、絵画などでとりあげられ、安吾作品の中で最も人気のある作品の一つといえる。

このたびは坂口安吾の作品を原作として、映画化された7作品を紹介する。作品のもつ魅力が監督、脚本家、音楽家の心を揺さぶり、さらにそこに携わる俳優ら多くの人の表現も加わって、また新たな作品へと仕上がっていく。

映画化された作品のシナリオ、ポスター、チラシ、批評などを通して、原作である安吾作品の魅力あらためて考えてみたい。

◇おもな展示作品

- 「天明太郎」 自筆原稿(未定稿)、シナリオ
- 「負ケラレマセン勝ソマデハ」 シナリオ、メイキング写真、チラシ
坂口安吾作成 税務署対策ノート
- 「桜の森の満開の下」 シナリオ、映画ポスター、チラシ、ロビーカード
初出誌『肉体』第1巻第1号 新潟市立中央図書館所蔵
- 「不連続殺人事件」 シナリオ、映画ポスター、広報誌、メイキング写真
初版本、初出誌『日本小説』 新潟市立中央図書館所蔵
- 「カンゾー先生」 パンフレットほか(個人蔵)、「肝臓先生」自筆原稿
- 「白痴」 映画ポスター、パンフレット、初版本(中央公論社)
初出誌『新潮』第43巻第6号 新潟市立中央図書館所蔵
ほか

【和室展示】

坂口綱男撮影 現代俳人の肖像

次回展覧会のご案内

安吾の捕物帖

関連イベント

「安吾風の館」見学と安吾ゆかりの地めぐり

日時： 4月9日、5月14日、6月11日、7月9日

各土曜日 13:00～14:30

集合場所： 安吾風の館 参加費：500円 定員10名

申込・問合せ： 安吾の会事務局(新潟・市民映画館 シネ・ウインド)

主催：安吾の会

TEL 025-243-5530



バスのご案内 新潟駅万代ロバスターミナル 7番線から、または
観光循環バス乗車「西大畑坂上」バス停下車徒歩3分

■ 開館時間 10:00～16:00

■ 観覧無料

■ 休館日 毎週月・火曜日 祝日または振替休日の場合はその翌開館日

旧市長公舎

安吾風の館

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町 5927 番地 9 TEL & FAX 025-222-3062